

# 015 健康経営 取り組み事例

企業  
プロフィール

 **三菱地所 三菱地所 株式会社**


業種 32 不動産業  
従業員数 1,013名(2022年度末)

## 01 目的

当社は2030年までの長期経営計画を掲げているが、その達成に向け、社員が心身ともに健康で最高のパフォーマンスで働くことが可能な状態を5年、10年スパンで「続けていく文化」を形成していくことが肝要であると考えているため。

## 02 課題・目標

### 健康経営で解決したい経営上の課題

	<b>課題 ① 従業員のパフォーマンス向上</b>
	<p><b>健康経営で解決したい経営上の課題</b> 健康上の問題によるプロジェクトからの離脱(アブセンティーズム)、高ストレスや体調不良等によるパフォーマンス低下(プレゼンティーズム)のリスクを低減すること。</p> <p><b>健康経営の実施により期待する効果</b> 従業員が心身ともに健康で最高のパフォーマンスで働くことが可能な状態を5年、10年スパンで「続けていく文化」を形成していくこと。また、それにより各種健康課題のKPIを達成すること。</p>

### 自社従業員(組織)の課題と目標

#### 重点課題1 ⑩ 生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

<b>課題内容</b>	生活習慣病系疾患における健康層(服薬なし、健診基準値内)の割合が全国平均よりも大きく下回っていること。			
<b>目標</b>	<b>メタボ健康層の割合(40歳以上)</b>			
	取組前実績値	26.8	%	2020年度
	現在の実績値	23.9	%	2022年度
	目標値	32.8	%	2030年度

#### 重点課題2 ⑬ 生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

<b>課題内容</b>	生活習慣病系疾患における医療機関受診勧奨者の割合が全国平均を大きく上回っていること。			
<b>目標</b>	<b>メタボハイリスク層の割合(40歳以上)</b>			
	取組前実績値	9.4	%	2020年度
	現在の実績値	7.5	%	2022年度
	目標値	0.0	%	2030年度

## 04 健康経営の成果


### 経営上の課題に対する健康経営の成果


継続的に社内に対し健康経営施策を打ち出すことで、健康経営の重要性について、社員の意識作りは整っているほか、具体的な効果としては、健康経営上の重要テーマとしている「がん」について、健診受診率が増加してきている状況となっている(健診受診率(5大がん平均)/2020年度:73.0%→2022年度:88.6%)。

## 03 施設・実績

### 健康経営の取り組み

<b>施策内容(重点課題1)</b>	<b>施策内容(重点課題2)</b>
--------------------	--------------------

 ①筋肉量の増、②脂肪量の減、③歩数、をポイント化し、運動の習慣づけ及び生活習慣の見直しを促す社内イベントを開催。

 特定保健指導や重症化予防プログラムに該当する社員に対し、健康保険組合からだけではなく、会社としても受診勧奨を行っている。

### 具体的な実践内容1

<b>分類</b>	自社組織
<b>名称</b>	カラダ改善コンテスト
<b>内容</b>	社内で5人のチームを作ってもらい、2か月間の①筋肉量の増、②脂肪量の減、③歩数、をポイント化し、競うもの。
<b>導入時期</b>	2017年度より
<b>評価(定量・定性)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>凡そ社員の5人に1人が参加するイベントとなっており、参加者の半数以上が数値を改善している。歩数については、タイムリーに順位を確認できるようになっているため、日々の健康への意識付けや、チーム内のコミュニケーション活性化にも繋がっている。</li> </ul>

### データ活用事例

<b>事例名</b>	健康経営システムを活用した情報の利活用
<b>内容</b>	健康診断結果管理システムを導入し、従業員はWEB上で過去検診結果の閲覧が可能。また産業医はWEB上で結果のチェックを行い、再検査等の受診干渉が必要な対象者に対して個別のコメントを付記してメッセージを送付・従業員とやり取りする。
<b>利用データ</b>	健康診断結果
<b>利用者(ユースケース類型)</b>	産業保健スタッフ、従業員

### 取り組みにおける課題や困っていること

<b>実施している施策の課題</b>	会社として行動変容を促したいと考える社員への会社からのアプローチをどの程度まで強めるべきなのか、また自発的な行動変容に繋がるような施策はどういったものがあるのかについて課題感を感じている。
<b>今後取り組みたい施策の課題</b>	生活習慣病の疾病リスクを負っている社員に対し、具体的に「高血圧」「脂質異常」「高血糖」を改善させるためのプログラムについて今後導入していきたい。